



2025年大阪万博の海をきれいに「オーシャン・リハビリテーション・プロジェクト」

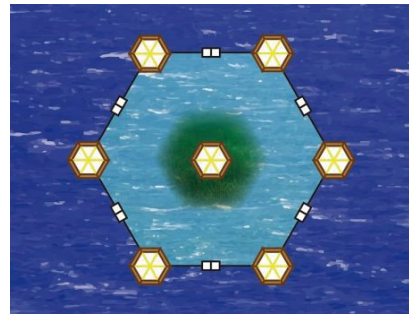
今年3月、「2025年大阪万博までに大阪湾を豊かな海域に戻す」ことを目的とした、一般社団法人「国際オーシャンリハビリテーション協会」が設立された。代表者は守口市の商店街で障がい者事業所を運営する森川誠栄さん。SDGsを3年前に知ったことをきっかけに、「海をきれいにしたい」と地元の仲間と共に始めた小さな活動は、実現に向けて走り出した。

協会が掲げる「オーシャン・リハビリテーション・プロジェクト」では、2025年大阪万博の予定地である夢洲の周辺で、魚のえさ場や卵を産み付けるアマモを育てる「藻場」をつくる。また、「カイロをキューブにして汚れた水に入れると水質の改善になる」と、使い捨てカイロを再利用した水質改善も行う。万博の共創パートナー企業や大学教授の協力のもと、計画が進んでいるという。

すべての始まりは3年前、SDGsを知ったことから始まった。地元の青年会議所でSDGsという言葉聞き、重要性を理解するやいなや独学で勉強し啓発活動に取り組んだ。「当時はSDGsのことなんて誰も知らなかった。だから地元のラジオなどで、SDGsのことを話していました」と森川さん。地域の集まりやSNSでも積極的に発信を続け、2019年には国内の歴史ある経営コンサル

タントの団体からも表彰された。「障がい者の人が牛乳パックから再生紙を作る活動をブログで紹介したり、商店街の理事として、イベントや子ども食堂なども運営していました。そういうことが評価されたみたいですね。」

2年前には商店街の仲間と一緒に近くの淀川で清掃を開始。「2050年には、海のプラスチックごみの総重量が海に生息する魚の総重量を超えと言われています。そのほとんどは河川や下水から来る」ということを知ったからだ。掃除のことをSNSで発信していると、海洋関係の独立行政法人で働く中学時代の同級生から連絡があった。「美しい海や川を取り戻そう」と意気投合し、「具体的にアクションを起こすなら目標を立てよう。だったら地元大阪で、間近に迫っている万博までに大阪湾をきれいにしよう」と



区画内の黄色で縁取られた六角形部分では、海上コテージや海底レストランの設置、ダイビングをはじめとしたマリナレジャーを楽しめるように計画中のこと。



森川 誠栄 さん

茨木市在住。守口市の就労継続支援事業所「守口誠翔園」代表。一般社団法人「国際オーシャンリハビリテーション協会」代表理事。「国際」の名称は、大阪湾から全国、世界へ広げたいという思いを込めた。



「海の豊かさを守ろう」

大阪湾をきれいで豊かな海域に戻すため、法人を立ち上げ、藻場の生育環境をつくり、使い捨てカイロによる水質改善を目指す。



淀川での清掃活動「クリーンナップレンジャーズ」。今でも商店街の仲間と月1回、淀川の掃除をしている。4月には過去最多となるゴミ袋33袋分のゴミ以外に、ラジカセ、ショッピングカート、BBQ用炭、ヘルメット、掃除機なども拾い集めた。

決めた。「今はもうSDGsの達成というより『やらないとダメでしょ』という気持ちですね。」

今や多くの人を巻き込むまでになったが、3年前は自身も全くのSDGs初心者だった森川さん。「きっかけはなんでもいいんですよ。ゴミの分別とかマイボトルの持参とか、小さいところからでも始められると思います」と話す。



夢洲周辺で作る予定の浮島イメージ

※国際オーシャンリハビリテーション協会の資料より
ヘドロ分解作用のある、使い捨てカイロから作ったキューブを区画内に投入して水を浄化するほか、そこに「藻場」も設置して水質の改善を図る。

SDGsとは「持続可能な開発目標」のこと。2015年の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標だ。地球上で「誰一人取り残さない」社会を実現するため、17の目標と169のターゲットを設定している。

CULTURE

ロハスフェスタと豊岡靴「ナオト」がコラボ環境に優しいオリジナルトートバッグ

環境イベント「ロハスフェスタ」と(株)ナオトが、環境に優しいオリジナルトートバッグを製作、販売を開始した。

ロハスフェスタは「みんなの小さなコエを大きなエコに」をテーマにした環境イベントで、ハンドメイドクラフトやグリーン、体に優しいグルメなど、「ロハス」な店が集結。イベント参加者の協力のもと、リユース食器の利用やゴミの削減・分別、資源回収など環境

保全に取り組み、SDGsにも力を入れている。ナオトは兵庫県の豊岡靴認定企業で創業42年の老舗。2社のコラボが実現した。

今回のバッグ製作は、ゴミを削減しながらアップサイクルする取り組みの1つ。会場内の看板で使用する雨風に強いターポリン(テント)生地を活用し、裏地や取っ手はペットボトルを再生したものを利用している。耐久性もありながら、カラフルで個性豊かな看

板を切り取り組み合わせた、世界に1つだけのトートバッグだ。

価格は4,000円(税込み・送料別)。通販サイト「Lohas Festa Mall(ロハス・フェスタ・モール)」や、イベント会場で購入できる。

※アップサイクル…廃棄したり不要になった製品を、付加価値を持たせることで以前よりアップグレードすること。

通販サイト「Lohas Festa Mall」▶



裏、表、底で別々の柄を使用。切り出す部分によって違う柄になるのですが「世界に1つだけ」。



摂津市商工会

海外の大きな市場に売り込もう! 海外への販路開拓セミナー

海外向けに、自店、自社の商品をPRできる2つのツールを紹介します。海外に自社商品をPRしよう!

■キックstarter(海外クラウドファンディング)セミナー

KICKSTARTERと日本企業の事例紹介等

【日時】6/18(金) 10時~12時

【講師】若口穂高氏 アンカースター(株)

KICKSTARTER日本窓口

場所:摂津市商工会(摂津市南千里丘4-35 3階)

■海外販売(越境EC)セミナー

越境ECの現状、市場動向、外国人の趣向、輸出知識と基礎条例、販路や国別ルール等

【日時】6/16(水) 15時~17時 ※オンライン可

【講師】志水功行氏

大阪府よろず支援拠点コーディネーター等

【場所】茨木商工会議所

【申込み】摂津市商工会 <https://settsu-sci.jp/>

TEL06-6318-2800

茨木商工会議所

茨木商工会議所で行う、 創業関係事業のご紹介!

■大阪三島地域で創業を目指すセミナー

【日時】7月21日(水) 18時半~20時半

【対象者】大阪三島地域(茨木市、島本町、吹田市、摂津市、高槻市)での創業に関心のある方、創業に興味のある方など

【内容】創業者基調講演、計画書の書き方、三島地域わがまちPR及び情報交換

■茨木商工会議所 創業スクール2021

【日時】9月3日(金)~全5日 18時半~21時

【対象者】創業に関心のある方など

【内容】座学とグループワーク、計画書作成・財務・人事労務・販路開拓の基礎知識等

※特定創業支援等事業の茨木市指定講座。

【会場・申込み・問合せ】

「茨木商工会議所」のホームページからどうぞ。

茨木市若倉町2-150 立命館いばらきフューチャープラザ

TEL072-622-6631 / info@ibaraki-cci.or.jp

高槻商工会議所

初めの一步を踏み出そう! 「創業スタートアップセミナー」

主婦、学生、会社員など創業に関心のある方なら、どなたでも参加可能です。

【日時】7月4日(日) 14時~16時

【会場】高槻商工会議所 4階大ホール

【参加費】無料 【定員】40名(申込順)

【カリキュラム】

■講義(14時~15時40分)

・創業することとは ・創業に向けての心構え

・自己の棚卸し ・創業者の適性診断

・創業に成功する人、失敗する人 ・創業までのスケジュール ・ビジネスチャンスの発掘

■支援施策の紹介(15時40分~16時)

<予告>たかつき創業塾7月31日スタート!

【問合せ・申込み】

高槻商工会議所中小企業相談所

TEL:072-675-0484

HP: <http://www.takatsukicci.or.jp>

商工会 商工会議所 通信

SYOUKOUKAI SYOUKOUKAIGISYO
TSUSHIN

商工会・商工会議所は地域企業の振興や地域の活性化に日夜努力しています。でも具体的にどんな活動をしているのか知らないという人も少なくないのでは?そんな商工会・商工会議所の活動を今月も紹介します!